

現在の教育施設の利用状況

【サークルや教室などの団体活動として】

- ・ 音楽の練習ができる数少ない環境
- ・ 各種サークル活動や教室等を行う場所としての利用

【地域の拠点としての利用】

- ・ 自治会の集まりに利用
- ・ 公民館祭り等のイベントを実施
- ・ 子どもたちの一時預かり等を実施

【学校教育の場として利用】

- ・ 学校の保護者会、説明会を行う会場として利用
- ・ 地域を知るための授業として、地域の施設を見学

【自由に利用できるスペースとして利用】

- ・ 子どもたちの自習スペースとしての利用
- ・ 利用者が会話を楽しむサロンのような利用

【発表等の場としての利用】

- ・ 音楽や習い事など日々の活動の成果を発表する場としての利用

【市域外の方の利用】

- ・ シープラやテクスピアなどは市域外の方も利用しているのでは

【当日の参加者】・午前4グループ 21名 ・午後4グループ 16名

既存の施設の良い点、課題

【良い点】

- ・ 自宅や職場から近い環境に施設がある(距離的な利用のしやすさ)
- ・ 時間割があることで、見知った誰かがいる環境が用意されている
- ・ 利用料金の安さ(安い、無料)
- ・ 様々なイベントを提供している
- ・ クラブ活動や教室の拠点として利用がしやすい

【利用者が感じる課題】

- ・ 施設全体の老朽化
- ・ 世代間の交流がなかなか生まれていない

【未利用者が感じる課題】

- ・ これまで教育施設に触れることが無かった人々が使いやすい環境を整備する必要がある
- ・ 利用イメージがわからない、予約の方法等がわからない
- ・ 施設の利用状況が分かりにくい
- ・ 決まった人が利用しているイメージがあり、利用へのハードルを感じる

これからの教育施設とは(どんな利用方法がある、現状の課題、改善案等)※第二回で引き続き議論

【市民からの認知度を高めるためには】

- ・ 教育施設全体の認知度の向上が課題
- ・ 施設をそもそも知らない人にどのように情報を伝えるか
- ・ 施設での利用イメージを伝える必要がある
- ・ 世代に応じた異なる広報のアプローチが必要
- ・ 市民が誇れる、地域の目玉になる施設を整備
- ・ おづぷらざ等が一元的に情報発信できると良い
- ・ 駅前など人目につく場所でイベント情報等がわかると良いのでは

【新たな施設を検討する上での視点】

- ・ 人が集まる施設とはどのような施設なのかという視点で検討してほしい
- ・ 学校に機能が分散した場合の具体的な利用法や運営方法を示してほしい
- ・ 能力や専門性を有する方たちが様々なプログラムを提供できる場があると良いのではないか
- ・ 若者等には使い方を制限せず、自由に利用できる場所の方がニーズがあるのではないか
- ・ 民間と行政が協力して提供プログラムを検討してはどうか

【新たな施設に求める設備や機能、運営方法】

- ・ 現在施設を利用している人々が継続して利用できる環境を整備
- ・ 様々な立場の人が利用しやすい環境の整備
- ・ 広い駐車場や駐輪場を整備
- ・ 利用時間の制約が少ない施設とする
- ・ 利用状況や予約の状況等が一目でわかるシステムを整備
- ・ 地域の方々にも運営の支援をして頂く
- ・ 防災などの拠点機能を持たせても良い